

2050ゼロカーボン実現に向け、地域エネルギー事業会社との協働による取組をスタート

- ◆ 安曇野市は、豊かな自然環境を活かし、**再エネの地産地消と地域内経済循環構築による2050ゼロカーボンシティ**実現に取り組んでいます。
- ◆ この実現に向けては、意欲ある**地域の事業者と相互に連携協力し、事業者のノウハウを活用**しながら、多様な取組みを創出していくことが必要です。
- ◆ このたび、**安曇野RE(株)と連携協定を締結**し、太陽光やバイオマスなど、地域資源を活用した**再エネ普及に協力して取り組むこと**としました。

1 協定の内容

会社名：安曇野RE株式会社（出資者：サンリン(株)、ヒルデブランド(株)、(株)有賀電気工事）

連携事項：① 再生可能エネルギーの導入・供給・利用拡大
② 地域資源の有効活用、脱炭素に寄与する取組みの推進
③ 脱炭素に関する情報交換会、勉強会の実施 等

2 具体的な連携事業

地域資源を活用した脱炭素化推進事業

※環境省 地域脱炭素移行・再エネ推進交付金に採択

取組1 公共施設等へのPPA方式による太陽光発電設備等の導入

R6～8年度 25か所程度

取組2 きのこ培地等由来のバイオマス燃料による温浴施設等への熱供給

R7～8年度 2～4か所程度



R6. 6. 11市民タイムズ

R6. 6. 12信濃毎日新聞

取組 1 公共施設等への太陽光発電設備の導入（PPA方式）

- 環境省の地域脱炭素移行・再エネ推進交付金の採択を受け、市として初めて、初期費用なしで設備を導入するPPA方式（電力販売契約）により、自家消費型太陽光発電の設置を拡大
- R6～R7年度の2年間で**公共施設・民間事業所18施設**に**太陽光パネル・蓄電池**を設置。
これにより、**一般家庭約430世帯分**に相当する**温室効果ガス排出量を削減**

R6年度導入施設（13施設）

温泉・入浴施設（2施設）

- ほりで一ゆ〜四季の郷 135kW



- ファインビュー室山 58kW



給食センター（1施設）

- 北部学校給食センター 104kW



認定こども園（4施設）

- 有明の森 各10kW 計40kW
- 有明あおぞら
- 三郷南部
- 三郷北部



支所等（4施設）

- 三郷交流学習センター ゆりのき 153kW



- 堀金公民館・公文書館 102kW



- 穂高支所 18kW



- 明科支所 18kW



民間（2施設）

- ・ バイオマス関連
 - ・ 食品関連
- 566kW

安曇野市のゼロカーボンへの取組み

R7年度導入施設（5施設）

体育施設（1施設）

➤ ANCアリーナ

111kW



温泉・入浴施設（1施設）

➤ しゃくなげの湯

73kW



市民交流施設（1施設）

➤ 穂高会館

94kW



民間（2施設）

- ・スポーツ施設
- ・食品関連

255kW

R8年度導入施設（選定中）

- 公共施設は小学校、交流施設など
- 市内企業等の設置希望者を募集

学校（1施設）

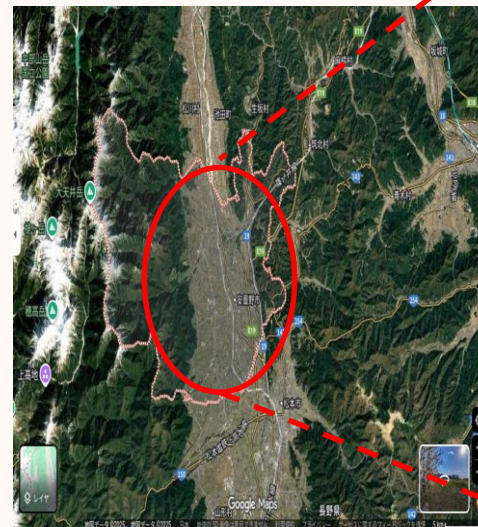
➤ 堀金小学校・堀金学校給食センター

128kW



学習用モニター設置

【参考】安曇野市内位置図
⇒全域で事業を横展開



取組 2 地域資源を活用したバイオマスエネルギーの活用

- 環境省の地域脱炭素移行・再エネ推進交付金の採択を受け、地域資源であるきのこ培地や木質チップを活用し、エネルギーの地産地消と資源の地域内経済循環を推進
- R4～R6年度にきのこ培地等を原料とするバイオマス燃料製造設備を整備、R7年度から温浴施設へのバイオマスボイラー設置に着手、R8年度より燃料供給を開始
- 従来の重油・灯油からの転換により、年間約1,500トン※の温室効果ガス排出量を削減
(※一般家庭約600世帯分の排出量に相当)

市内きのこ製造工場

バイオマス燃料製造設備 (R4～R6整備、R7稼働)

バイオマスボイラー (R7整備、R8稼働)

